

『あなたとわたしのこれから』(ヨハネの福音書 21章 15-25節) 2022.5.22.  
<はじめに> 「両手いっぱい愛」というさんびがあります。子どもがイエス様に「どれくらいボクを愛してるの」と問い掛けています。「あなたはわたしを愛していますか」はストレートで、そう簡単には答えられない問い掛けです。この箇所では、イエスが3度ペテロに問い掛けられています。

## I 「あなたはわたしを愛していますか」(15-17)

### ①食事を済ませたとき(1-14)

ペテロ以下7人の弟子たちはティベリア湖畔に来、漁に出ます。明け方、岸からの助言で大漁を得たその時、その声がイエスだと分かります。網を引き上げると、炭火がおこされ、パンと魚もあり、イエスは彼らを朝食に招かれ、その後ペテロにだけ問い掛けられます。

### ②愛していますか(15-17)

この問い掛けを、イエスは微妙な変化をつけながら3度繰り返されます。ペテロは「はい、あなたを愛しています」と答えずに、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたをご存知です」と答えたのは、どういう思いからだったのでしょうか。

### ③今、あなたはわたしを

イエスは今現在の私たちの心の状況と思いを問い掛けられます。主と会う毎に問い掛けられるのはこれです。いろんなことがあり、紆余曲折を経たとしても、主は私たちに近づき、「あなたはわたしを愛していますか」と改めて尋ねられます。あなたは何と答えますか。

## II 二人だけの会話(17)

### ①三度目で気付くこと

イエスが3度尋ねられたことは、忘れられないあの事へとペテロを導きます。多分まだ誰にも明かしていない、イエスをご存じのことです(ルカ 22:61)。彼が3度イエスのことを「知らない」と告白したこと、しかもイエスはそれを彼に予告しておられた(ルカ 22:34)のです。

### ②過去を悲しむ者に

二人の会話にそのことは明言されていませんが、イエスはそのま曖昧にされていません。ペテロもそれに気づいて心を痛めています。過去を指摘し、責めることなく、「わたしを愛していますか」と問われるイエスは、彼を罪・失敗・弱さから引き出そうとされています。

### ③あなたはすべてをご存知です

あの時、ペテロのした事、言ったことすべてをイエスもご存知です。それでも彼は、今なおイエスを愛していることをご存じです、と彼は期待を込めて告白します。ペテロはイエスをどんな御方だと捉えていたでしょう。あなたにとってイエスをどんな御方ですか。

## III これから、あなたは(18-23)

### ①わたしの羊を飼いなさい(15-17)

「わたしは良い牧者です」(ヨハネ 10:11,14)とかつてイエスは語られました。これからイエスを受け入れ従う人々を養い導く役割をペテロに託そうとされます。彼が「漁に行く」(3)と言えば、他の弟子たちもついて行きました。彼の類まれなリーダーシップを認めた故です。

### ②望まないところに連れて行きます(18-19)

老後に受ける介護の予告ではありません。彼の最期に至る道筋を示し、それが神の栄光を現すことになる、とイエスは預言されます。この描写はイエスが辿られた十字架の道です。その時彼はついて行けませんでした、これからは主とともにこの道を歩むのです。

### ③あなたはわたしに従いなさい(20-23)

「イエスが愛された弟子」がについて来るのを見て、ペテロは彼がこれからどうなるのかが気になりました。しかし、彼は彼、あなたはあなた、です。あなたがイエスに従うことに集中すべきと、彼の眼差しをイエスとの関係を日々保つことへと向かわせます(ヘブル 12:2)。

<おわりに> よみがえられたイエスは前向き、未来志向です。過去に私たちを縛り付ける心の痛みにも、イエスはそっと触れて、そこから引き上げて、また前進させようと働き掛けてくださいます。そのイエスに「私は愛しています」と素直に言える関係を日々更新して行くのです。(H.M.)